

2026年2月25日

各 位

会社名 ビリングシステム株式会社
代表者名 代表取締役社長 石塚 昭浩
(コード番号: 3623 東証グロース)
問合せ先 取締役管理本部長 長谷川 毅
(TEL: 03-5501-4400)

(訂正) 2025年12月期通期決算説明資料の一部訂正に関するお知らせ

2026年2月19日に公表しました「2025年12月期通期決算説明資料」の一部の記載に誤りがございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

提出後に記載内容の誤りが判明したため、訂正いたします。

2. 訂正箇所

別紙をご参照ください。訂正箇所を赤枠で囲んでいます。

なお、訂正後の通期決算説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

8 ページ「2025年12月期 実績ハイライト (5か年推移)

12 ページ「2025年12月期 実績 (原価)」

21 ページ「2025年12月期 人員推移」

24 ページ「2026年12月期 計画」

28 ページ「2026年12月期 販売管理費」

29 ページ「2026年12月期 投資計画」

以上

(別紙)
【訂正前】

2025年12月期 実績ハイライト（5か年推移）

既存のクイック入金、収納代行に加え、スマホ決済サービスPayBの伸長により、決済件数の増加に伴うストック収入が継続的に積み上がっており、売上・利益ともに中長期的な成長トレンドが維持されている



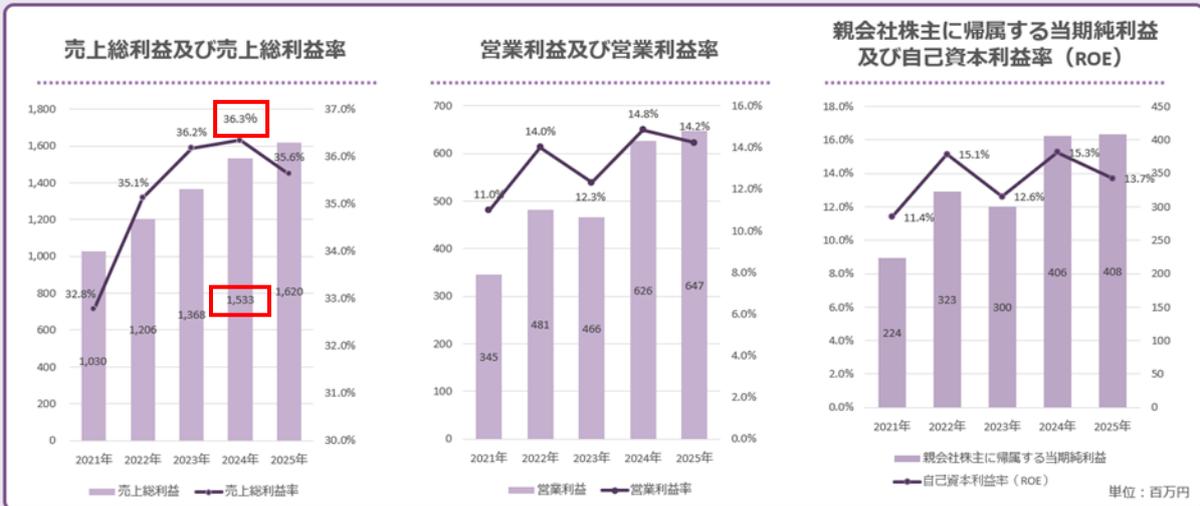
Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

8

【訂正後】

2025年12月期 実績ハイライト（5か年推移）

既存のクイック入金、収納代行に加え、スマホ決済サービスPayBの伸長により、決済件数の増加に伴うストック収入が継続的に積み上がっており、売上・利益ともに中長期的な成長トレンドが維持されている



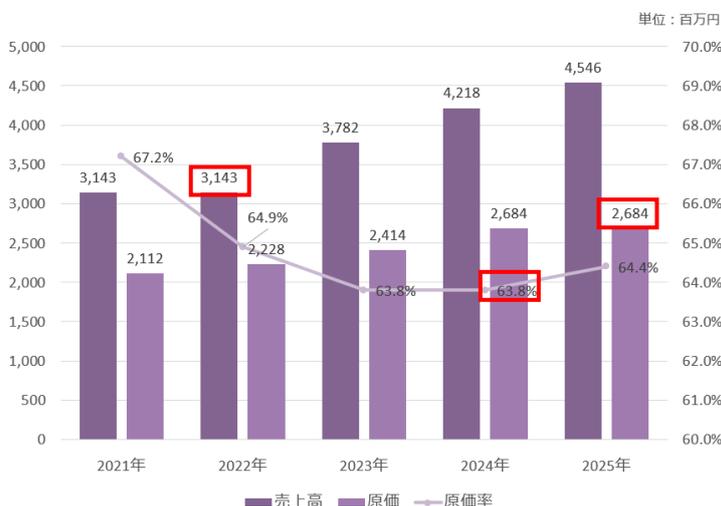
Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

8

【訂正前】

2025年12月期 実績（原価）

ストック型サービスの拡大により、売上成長と原価率の安定が両立している



- クイック入金、収納代行、スマホ決済サービス PayB等の伸長により、売上の拡大に対して原価の増加は相対的に抑制され、売上原価率は中長期的に低下傾向にある。
- 決済件数の増加に伴い、ネットワーク利用料等の変動費は増加しているが、売上成長を上回るペースでの増加は生じていない。
- 2025年12月期は、人員増等一部コスト増加要因により原価率が小幅に上昇しているが、収益構造そのものに大きな変化はない。

このような収益構造を背景に、営業利益・キャッシュフローは安定的に創出される。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

12

【訂正後】

2025年12月期 実績（原価）

ストック型サービスの拡大により、売上成長と原価率の安定が両立している



- クイック入金、収納代行、スマホ決済サービス PayB等の伸長により、売上の拡大に対して原価の増加は相対的に抑制され、売上原価率は中長期的に低下傾向にある。
- 決済件数の増加に伴い、ネットワーク利用料等の変動費は増加しているが、売上成長を上回るペースでの増加は生じていない。
- 2025年12月期は、人員増等一部コスト増加要因により原価率が小幅に上昇しているが、収益構造そのものに大きな変化はない。

このような収益構造を背景に、営業利益・キャッシュフローは安定的に創出される。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

12

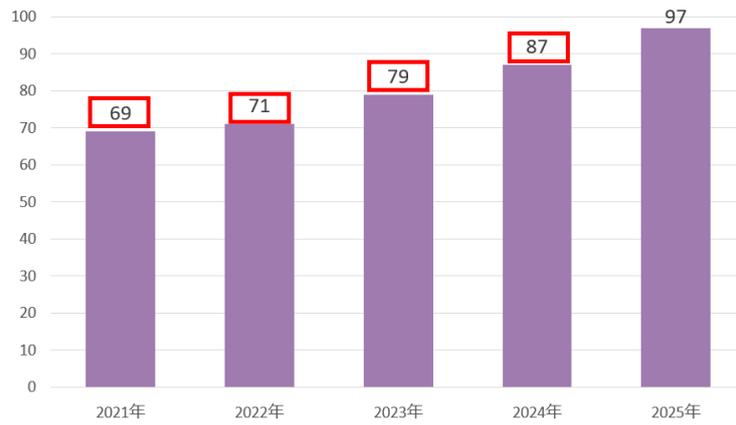
【訂正前】

2025年12月期 人員推移

事業拡大に合わせて体制を段階的に拡充し、人材基盤の整備を進めている

社員数の推移

(単位・社員数)



Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

21

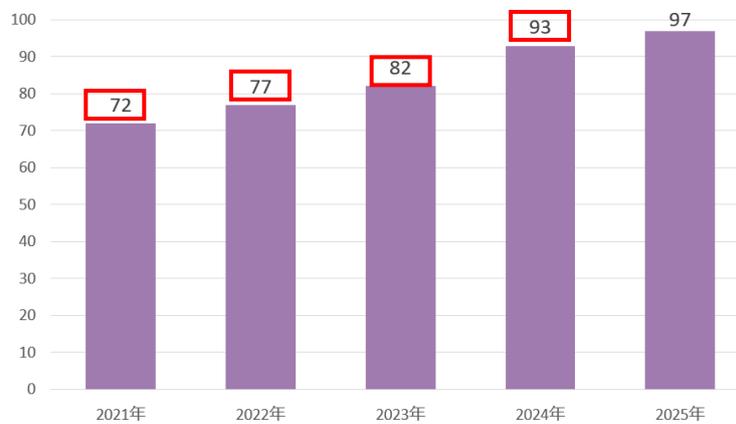
【訂正後】

2025年12月期 人員推移

事業拡大に合わせて体制を段階的に拡充し、人材基盤の整備を進めている

社員数の推移

(単位・社員数)



Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

21

【訂正前】

2026年12月期 計画

成長投資を継続しつつ、売上成長と収益性向上の両立を図り、中期経営計画2年目としての目標水準を2026年12月期計画に反映している。

連結 単位：百万円

	2025年12月 期実績①	2026年12月期 計画②	前期比 ③＝②－①	前期比 ③／①
売上高	4,546	5,607	1,061	23.3%
売上総利益	1,620	2,124	504	31.5%
営業利益	647	929	282	43.5%
経常利益	651	926	275	42.2%
当期純利益	408	584	176	43.1%
EPS	64.87円	93.01円	28.14円	43.4%

- ストック収入についてはPayBの取扱い件数増加や新規サービス（PayB for Business/Billing BOX）の立ち上げが収益に寄与
- 既存のクイック入金や収納代行は継続して堅調に推移するとともに、既存顧客からの新しいニーズの拾い起こしを強化
- スポット収入については、2025年12月期からの期スレ案件の解消および大型案件の獲得、新規決済端末の拡販等を見込む。
- 同時に、人材投資やシステム投資といった将来成長に向けた先行投資を行いながらも、事業規模の拡大による収益性の改善を進め、利益面においても持続的な成長を目指す計画としている。

【訂正後】

2026年12月期 計画

成長投資を継続しつつ、売上成長と収益性向上の両立を図り、中期経営計画2年目としての目標水準を2026年12月期計画に反映している。

連結 単位：百万円

	2025年12月 期実績①	2026年12月期 計画②	前期比 ③＝②－①	前期比 ③／①
売上高	4,546	5,607	1,061	23.3%
売上総利益	1,620	2,124	504	31.1%
営業利益	647	929	282	43.6%
経常利益	651	926	275	42.0%
当期純利益	408	584	176	43.4%
EPS	64.87円	93.01円	28.14円	43.4%

- ストック収入についてはPayBの取扱い件数増加や新規サービス（PayB for Business/Billing BOX）の立ち上げが収益に寄与
- 既存のクイック入金や収納代行は継続して堅調に推移するとともに、既存顧客からの新しいニーズの拾い起こしを強化
- スポット収入については、2025年12月期からの期スレ案件の解消および大型案件の獲得、新規決済端末の拡販等を見込む。
- 同時に、人材投資やシステム投資といった将来成長に向けた先行投資を行いながらも、事業規模の拡大による収益性の改善を進め、利益面においても持続的な成長を目指す計画としている。

【訂正前】

2026年12月期 販売管理費

成長投資を織り込んだ戦略的な販管費計画

単位：百万円

	2025年12月期 実績	2026年12月期 予算	差額
人件費	653	782	129
賃借料	46	49	2
支払手数料	126	175	49
その他	148	188	39
合計	973	1,193	220

- 新規採用および前年度採用者の通年寄与により、人件費が増加（原価部門労務費と合算すると、**119百万円**増加）
- 各種認証資格の審査・維持に係る費用等の増加により、支払手数料が**43百万円**増加。
- PayB関連に加え、新規事業にかかる広告宣伝費の増加により、その他費用が前年比**11百万円**増加。
- これらはいずれも、事業拡大および将来の収益成長を見据えた計画的な先行投資として織り込んでいる。

【訂正後】

2026年12月期 販売管理費

成長投資を織り込んだ戦略的な販管費計画

単位：百万円

	2025年12月期 実績	2026年12月期 予算	差額
人件費	653	782	129
賃借料	46	49	2
支払手数料	126	175	49
その他	148	188	39
合計	973	1,193	220

- 新規採用および前年度採用者の通年寄与により、人件費が増加（原価部門労務費と合算すると、**166百万円**増加）
- 各種認証資格の審査・維持に係る費用等の増加により、支払手数料が**49百万円**増加。
- PayB関連に加え、新規事業にかかる広告宣伝費の増加により、その他費用が前年比**39百万円**増加。
- これらはいずれも、事業拡大および将来の収益成長を見据えた計画的な先行投資として織り込んでいる。

【訂正前】

2026年12月期 投資計画

中長期成長を見据えたシステム・人材への重点投資を推進

システム投資

サーバー等（商用）	53百万円	ソフトウェア
新規サービス対応開発	55百万円	外注加工費
商用環境維持・セキュリティ強化等	88百万円	保守費等

- 既存事業の安定運用を最優先とし、商用サーバー等、事業継続性を高める投資を実施
- 26年度のシステム投資は、収益化を前提とした新サービス対応および既存基盤の高度化に重点を置く
- 信頼性・安全性を確保しつつ、サイバーセキュリティ対策等、持続可能なシステム基盤の予防的対応を進める

採用

純増ベースで21名（含むパート）を予算化
（開発、営業、業務、管理等）

- すでに新卒社員（予定）を含め11名の採用を確定しており、事業拡大に向けた人材基盤の整備は着実に進捗
- 26年度は、売上拡大・新サービス創出を見据え、営業・開発を中心に継続的な人材投資を実施
- あわせて、事業規模拡大を支えるため、経営管理・IR・人事・M&A等のコーポレート機能強化を目的とした戦略人材の採用を進める予定

【訂正後】

2026年12月期 投資計画

中長期成長を見据えたシステム・人材への重点投資を推進

システム投資

サーバー等（商用）	82百万円	ソフトウェア
新規サービス対応開発	55百万円	外注加工費
商用環境維持・セキュリティ強化等	88百万円	保守費等

- 既存事業の安定運用を最優先とし、商用サーバー等、事業継続性を高める投資を実施
- 26年度のシステム投資は、収益化を前提とした新サービス対応および既存基盤の高度化に重点を置く
- 信頼性・安全性を確保しつつ、サイバーセキュリティ対策等、持続可能なシステム基盤の予防的対応を進める

採用

純増ベースで21名（含むパート）を予算化
（開発、営業、業務、管理等）

- すでに新卒社員（予定）を含め11名の採用を確定しており、事業拡大に向けた人材基盤の整備は着実に進捗
- 26年度は、売上拡大・新サービス創出を見据え、営業・開発を中心に継続的な人材投資を実施
- あわせて、事業規模拡大を支えるため、経営管理・IR・人事・M&A等のコーポレート機能強化を目的とした戦略人材の採用を進める予定